

# 多機能オートサンプラがもたらす 高い柔軟性

Agilent PAL3 シリーズ II オートサンプラシステム



## 注入機能の強化によりラボの生産性を向上

ラボでは毎日、さまざまなサンプル注入やサンプル前処理が行われています。PAL3 シリーズ II により、アジレントのガスクロマトグラフにおいて、柔軟かつ追跡可能で大容量のサンプル注入とサンプル前処理が可能になります。

PAL3 シリーズ II は複数のサンプル注入技術を備えており、液体注入、静的および動的ヘッドスペース、固相マイクロ抽出 (SPME) に対応しています。スマートチップテクノロジーにより、Agilent OpenLab および MassHunter ソフトウェアでのシリンジや SPME の仕様と利用履歴の追跡が可能になり、信頼性が向上します。

詳細については、[ホームページ](#)をご覧ください。



## アジレントソフトウェアとの統合により、点検サービスを計画してダウンタイムを低減

スマートチップ技術を活用することで、OpenLab および MassHunter ソフトウェアと、使用中の消耗品に関する以下の情報を結び付けることができます。

- 仕様およびロット番号
- 使用開始日と最終使用日
- マルチヘッドスペースの温度範囲内の時間または範囲を超えた際の時間
- SPME 相の詳細、最大/最小調整温度、調整持続時間
- プランジヤの使用回数

このような詳細情報が GC や GC/MS で使われるアジレントデータシステムに報告されます。そのため、追加のソフトウェアやハンドヘルドコントロールは必要ありません。

## バイアル容量を最適化するオプション

PAL3 シリーズ II オートサンプラは 85 cm または 120 cm の 2 種類のレールから選択でき、複数のバイアルとサンプルプレートに対応しています。

モデル	説明
LSI 85	- 85 cm のサンプルレールでの液体注入
RSI 120	- 液体注入とオプションのヘッドスペース - バイアル容量の増加に対応可能な 120 cm レール - 追加のサンプル前処理オプションに対応
RSI 85	- 液体注入とオプションのヘッドスペース - 省スペース設計の 85 cm サンプラ - RSI 120 と同等のサンプル前処理能力
RTC 120	- 長さ 120 cm - 液体注入とオプションのヘッドスペース - Robotic Tool Change (RTC) 機能により、液体、静的または動的ヘッドスペース、SPME Arrow、SPME ファイバ用のツールを自動で切り替え可能

全モデルが液体注入機能を備え、サンプリングやサンプル前処理の以下の追加オプションがあります。

- 標準または高濃度ヘッドスペースサンプリングが可能な静的および動的ヘッドスペース
- 固相マイクロ抽出用の SPME Arrow および SPME ファイバ
- サンプルとデータインテグリティ用のバーコードリーダー
- 柔軟なサンプル前処理を実現するボルテックスミキサー、溶媒モジュール、攪拌器
- 複数のバイアルサイズ (2 mL、10 mL、20 mL)

ワンランク上の管理、自動化、柔軟性を備えたオートサンプラをお求めの場合は、[ホームページ](#)をご覧ください。

ホームページ

[www.agilent.com/chem/jp](http://www.agilent.com/chem/jp)

カスタマコンタクトセンタ

**0120-477-111**

[email\\_japan@agilent.com](mailto:email_japan@agilent.com)

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社  
© Agilent Technologies, Inc. 2021  
Printed in Japan, May 1, 2021  
5994-3271JAJP  
DE44301.2979282407